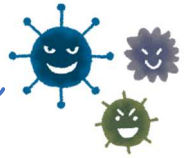


学校感染症が流行っています！



～感染症について知り、正しい対応をしましょう～



今年は夏が長く、ようやく寒くなってきましたね。本学では 10 月に入ってから、新型コロナウイルス感染症とインフルエンザが同じくらいの件数で急増しています。どちらも学校感染症に該当するので、感染した場合の対応について今一度確認しましょう。

❄️ 学校感染症とは

「学校において予防すべき感染症」の通称。感染症に罹患した場合は、多くの人が集まる学校での感染拡大を防ぐため、一定期間出席停止とする必要があります。学校感染症に該当する疾患は新型コロナウイルス感染症、インフルエンザの他に、麻疹、風疹、水痘、流行性耳下腺炎（おたふくかぜ、ムンプス）があります。

❄️ なぜ冬に感染症が流行の？

冬は気温が下がり、空気が乾燥します。低体温は身体の免疫機能を、乾燥は皮膚や粘膜の保護機能を低下させます。また、乾燥はウィルスの空気中の滞在時間を長くするため、感染症などにかかりやすくなります。

低体温の改善方法としては、規則正しい生活、睡眠・栄養の確保、バランスのとれた食事、ウォーキングなどの運動、入浴は湯船にゆっくりつかる等、普段の生活の中でできることが多いので、元気に冬を乗り越えるために実践してみましょう。

❄️ 新型コロナウイルス感染症とインフルエンザの共通点

どちらも「飛沫感染」と「接触感染」によって感染が広がります。手洗いやマスク着用、咳エチケットが感染拡大防止に有効です。また、「三密（密集、密接、密閉）」を避けることも基本的な感染対策となります。

***** 学校感染症にかかってしまったら *****

- 新型コロナウイルス感染症、インフルエンザは体内のウィルス量が増えないうちは、検査をしても正確な判断ができない場合があります（本当は陽性でも陰性と出ることがある）。検査や受診は、症状が出てから 12～24 時間以上経過してからが確実です。
- 新型コロナウイルス感染症の検査を自宅で行う場合は、必ず医療用の抗原検査キットを使用してください（「研究用」は検査結果の信用性を厚生労働省から認められていません）。
- 症状が強い場合は、受診（内服治療）が遅くなると治りも遅くなる傾向にあります。特にインフルエンザは、48 時間以内に内服が開始できるかがポイントになります。できるだけ 24～48 時間以内の受診をおすすめします。

***** 学校感染症による出席停止について *****

- 医務室ホームページで、手続きに必要な書類を事前に確認してください。
※ 病院を受診する場合は、事前に出席停止証明書をダウンロード・印刷し、受診時に持っていき医師に記載してもらうのが 1 番確実な方法です。
- 発症日を 0 日目とし、新型コロナウイルス感染症は 発症後 5 日間かつ症状軽快（解熱）から 24 時間、インフルエンザは 発症後 5 日を経過かつ解熱後 2 日経過するまでが出席停止期間となります。

<新型コロナウイルス感染症>

0 日目	1 日目	2 日目	3 日目	4 日目	5 日目	6 日目	7 日目
発症日	出席停止 (発症後 5 日間経過)かつ症状軽快(解熱)から 24 時間					解除 (登校可能)	

※解除日の前日に熱が出ている場合は、解熱するまで解除日が 1 日ずつ増える

<インフルエンザ>

	発症日 0 日目	1 日目	2 日目	3 日目	4 日目	5 日目	6 日目	7 日目	8 日目
発症後 1 日目に 解熱した 場合	 出席停止	 出席停止	 出席停止	 出席停止	 出席停止	 出席停止	 登校可能		
発症後 2 日目に 解熱した 場合	 出席停止	 出席停止	 出席停止	 出席停止	 出席停止	 出席停止	 登校可能		
発症後 3 日目に 解熱した 場合	 出席停止	 出席停止	 出席停止	 出席停止	 出席停止	 出席停止	 登校可能		
発症後 4 日目に 解熱した 場合	 出席停止	 出席停止	 出席停止	 出席停止	 出席停止	 出席停止	 出席停止	 登校可能	
発症後 5 日目に 解熱した 場合	 出席停止	 出席停止	 出席停止	 出席停止	 出席停止	 出席停止	 出席停止	 出席停止	 登校可能

※発症日(0 日目)は、病院に受診した日ではなく、症状(発熱、関節痛など)が始まった日のことをいいます。

※解熱日を 0 日目とし、その後 2 日間発熱がない(計 3 日間)場合、翌日より登校可能となります。

・コロナ、インフルエンザによる出席停止期間は、あくまで感染拡大防止のために必要な期間です。欠席した日数を保証する制度ではありません。感染拡大の恐れがなくなった時点で出席停止期間ではなくなるため、その期間を超えて欠席した場合は通常の欠席扱いになります。

・症状や経過には個人差があります。症状が 1 週間以上続いていて登校できない、このまま休んでもいいのか等判断に迷う場合は、医療機関を受診し医師の指示を受けましょう。医務室へもお問い合わせください。